

# eBASE

各 位



2026年4月24日

会 社 名 e B A S E株式会社  
(コード番号: 3835 東証プライム市場)  
本社所在地 大阪府大阪市北区豊崎五丁目4番9号  
代 表 者 代表取締役社長 岩田 貴夫  
問 合 せ 先 取 締 役 窪 田 勝 康  
執行役員 C F O  
電 話 番 号 (06) 6486-3955 (代表)  
U R L <https://www.ebase.co.jp/>

富士通株式会社のAIデジタル技術と  
eBASEの商品情報プラットフォームを組み合わせ、  
企業価値向上に貢献するデータ駆動型のオフリング提供を目指して  
協業を開始

～ サプライチェーンの強靱化とESG経営を支援するオフリングの提供 ～

eBASE株式会社（本社：大阪市北区豊崎 代表取締役社長 岩田貴夫／以下、eBASE社）と富士通株式会社（本社：神奈川県川崎市中原区、代表取締役 時田隆仁／以下、富士通）は、信頼性の高いデータ連携を実現するデータスペース※1を活用し、サプライチェーンの強靱化とESG経営を支援するオフリングの提供に向けた協業を開始しました。本協業では、富士通の「Dynamic Supply Chain Management」とeBASEの商品情報プラットフォームを連携させ、データとAIを活用したサプライチェーンのリスク可視化や高精度な原材料シミュレーション、ESG経営の高度化を推進していきます。企業がデータ主権を保持したまま安全にデータを共有・活用できるデータスペースを基盤にすることで、サプライチェーン全体を俯瞰した高度な意思決定を支援することを目指します。

※1 データスペース：参加者がデータ主権を堅持しつつ、ブロックチェーンなどの先端技術を組み合わせ信頼できる相手とデータを安全に連携・共有して新たな価値を創出しようとする取り組み

## ■協業の目的

現在、グローバルなサプライチェーンは地政学リスクや自然災害、環境規制の強化により、かつてない複雑性に直面しています。

富士通は、企業間電子商取引(EDI)における豊富な実績とサプライチェーンを構成する幅広いソリューションラインナップ、多業種市場での実績とノウハウ、AIをはじめとした最新ICT技術基盤と高い開発能力・サポート体制を強みとしています。一方、eBASEは、流通商品情報交換の多数の導入実績を誇り、品質管理・商品開発の責任者との信頼関係と取引実績、様々な業界の商品情報ビッグデータを所有し、メーカーや小売から最新の情報を収集し続ける仕組みを保有しています。

富士通の幅広い分野でのシステム開発運用実績、ならびにeBASEの業界横断の商品情報ビッグデータとデータ利活用のノウハウを生かし、データスペースを基盤として、機密情報を保護しながら高品質なデータとAIの活用を推進することで、社会課題の解決と新たな事業機会の創出を目指します。

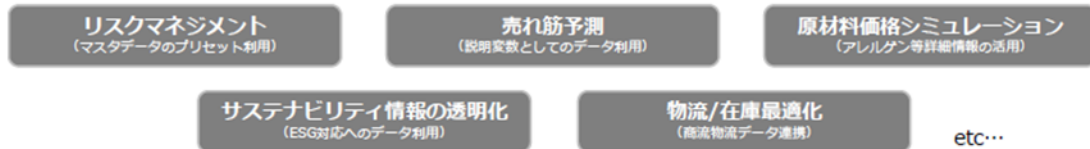
- ・最先端のAI技術による企業価値向上への貢献
- ・「Uvance」を含むオフリング提供によりお客様の事業成長と社会課題解決へ貢献

- ・商品情報管理のDXを推進し法改正対応やサプライチェーン効率化を支援



- ・社会課題を起点とする「Dynamic Supply Chain Management」などのオフリング群
- ・グローバル/日本市場における顧客基盤

- ・20年以上積み重ねてきた業界を横断した高品質な商品情報データプール
- ・業界特化&柔軟なデータベース設計力



## ■両社の強み

### 富士通

- ・企業間電子商取引(EDI)の豊富な実績に加え、サプライチェーン全体をカバーする幅広いオフリングラインナップ
- ・豊富なリソースによる多業種市場の実績とノウハウ（全国営業拠点、販売パートナー、公共・民需市場）
- ・最新AI技術（生成AI、AIエージェント）、世界をリードする量子技術（世界最大級の超伝導量子コンピュータ）

### eBASE社

- ・商品情報プラットフォーム市場での多数の導入実績
- ・様々な業界の商品情報ビッグデータを所有、メーカーや小売から最新の情報を収集し続ける仕組み
- ・保有する商品データコンテンツの利活用可能ノウハウ

## ■協業による提供価値（ユースケースの例）

- ・リスク可視化：原材料データと各種リスクデータを用いたAIによる高度な最適化技術で供給網リスクを即座に特定
- ・価格変動対応：市場変動予測を基に、コスト変動／損益影響をシミュレーション
- ・売れ筋分析：商品属性データで販売要因を深掘りし、ヒット商品を創出
- ・ESG対応：サステナビリティ情報の透明性を確保し、国際規制や投資家対応を支援

## ■データスペースを先行実践する富士通／「Uvance」の強み

富士通は、データスペースを実現するための機能を自社製品・サービスに組み込むことで異業種・異組織間のデータ連携を容易にし、信頼性ある共有を実現していきます。また、製造・金融・医療など多様な業界でのユースケースを開発・実装し、データスペースのビジネス価値を実証。さらに、企業のニーズに応じたアーキテクチャ設計やコンサルティングサービスを提供し、構築・運用を支援しています。これらを通じて、富士通はデータ駆動型社会の実現に貢献しています。

データスペース詳細は富士通ウェブサイトをご参照ください。

※商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

## ■eBASE株式会社の概要

eBASE株式会社は商品情報に関わるデータベースソリューションパッケージソフトであるeBASEjr、eBASEstandard、SmalleBASEserver、eBASEserver等の幅広いラインナップにより、生産者・原材料メーカー、加工メーカー、卸会社、小売会社の業態や規模にフィットしたソリューションを提供することが可能な商品情報交換データベース分野のエキスパート企業です。eBASE社の各種パッケージソフトウェアはシームレスに連携やアップグレードが可能です。商品情報に関わる様々な業務アプリケーション(「MDM eBASE」、「PDM eBASE」、「FOODS / GOODS eBASE」等)との連携を高いコストパフォーマンスで実現します。eBASE社は様々な業界(食品、日雑、医薬、文具、家電、工具、環境、住宅、アパレル等)で培った商品情報交換ソリューションノウハウを「全体最適」の視線で継続提供いたします。又、パッケージソフトウェアビジネスに加えて、その商品情報コンテンツビジネスとして商品データベースサービス「商材ebisu(食材 / 外食 / 日雑 / 住宅 / 家電 / 文具 / 工具(小売版) / 工具(卸版)等)」や「マスタデータebisu」を提供しています。更にこれら「商材ebisu」データを活用した消費者向けアプリビジネスとして、あらゆる商品カテゴリを統合したライフスタイルアプリ「e食住なび」、「e食住カタログ」、「e食住ちらし」、「e食住ビジュアルレシート」、及び住まいの設備や家電の情報をまとめて管理できるアプリ「e住なび」、等、幅広く小売企業を経由して一般消費者ユーザーに提供しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

eBASE株式会社

TEL : 06-6486-3955 FAX: 06-6486-3956

E-mail : [info@ebase.co.jp](mailto:info@ebase.co.jp)

URL : <https://www.ebase.co.jp/>